「健康産業流通新聞」2012年11月 掲載

第837号 2012・11・22
Health Industry Marketing News
健康産業流通新聞

30年の実績をもつ
信頼の受託加工メーカー
全工程GMP適正基準（日健適）
日本ケミット株式会社

本音で語る研究会誕生

日本アントシアニン研究会

第1回研究会

幅広い意見取り込む

10月2日に設立した日本アントシアニン研究会（会長＝良会長・東京海洋大学特任教授）の第1回研究会が17日、東京・新宿住友ホールで開催された。パネルディスカッションで一部パネラー同士が主張を激しくぶつけあったり、講演内容に対して厳しく反論する質疑に立つ研究者があわれたりなど、本音が飛び交う緊張感ある研究会となった。また、同会の法人研究会員として、初めから注目を集めていたことが明らかにされた。

業界・大学関係者ら約150名が参集。会の模様を撮影するテレビカメラも入っていた

明治医学から、食品機能研究会では、健康推持増進に広い分野の研究者を発起人として設立されたのが、アントシアニン科学研究会である。第1回テーマにした講演も行われ、栄養学、薬理学まで幅と移行の損失の軽減を特色とする日本アントシアニン研究会。

一色には染まらない研究会となった。

なかでも、サプリメントに必ずしも肯定的ではない意見を研究者に発信しているという物も増えさせたことで、研究会としての懐の深さをみせた。業界内にとどまらず、消費者にも広く情報提供していこうという姿勢の表れともいえそうだ。

会では、国立健康・栄養研究所の梅垣敦二氏や、一般消費者に食の安全情報を積極的に発信している科学ライターの松永和紀氏が登壇した。特に、松永氏は、豆を大きく傾けたくなる主張も一部聞かれた。同じ成分であっても製法はバラバラ、含有量も千差万別で見分けがつかない「など」健康食品が抱える課題を、業界関係者が大半の場に対して指摘。そのほか、健康食品が抱える問題点、研究者は、自身の研究成果として、ビルベリーエキス、ケルセチンエキス、はしめ、カシスエキス、果実エキス、マキベリーエキスといったアントシアニン含有素材の眼疾患に対する有効性についてはスタート。これが現在では、がん、脳梗塞、糖尿病、心血管疾患、視覚機能、脳機能までに対する抗酸化素材として研究が進められていると紹介した。また、原英彦・岐阜薬科大学教授は、「ビルベリーエキスの眼疾患に対する有効性」と題して講演。「アントシアニンの生理機能機能」と題した講演を行い、もともと、ビルベリーエキスの眼疾患に対する有効性についてはまだ、ヒトレベルでの有効性評価を行っていくことが必要だろう。それにより信頼性が高まる」（原教授）と、それぞれ述べた。

会（はこのほか、アンケートでは研究会後の方向性と、視機能に対する作用の社会的用価値のうつをテーマにしたパネルディスカッションが行われた。このうち、前講演「アントシアニンの生理機能」で行われたサプリ

ZoomUP

「モフィードシャンプー」

ナチュレ モフィード

ユナニ伝承素材を贅沢に配合

添加物を乗り製剤が在目されてから久しい、古代のペルシャ起源とした伝承医療である「ユナニ」の理論に基づいたシャンプーは、今回、「ナチュレモフィード」から新発売さ

ヘアケア市場において、"自然派"や"無

れたシャンプーは、シリコン、パラベン、石油系界面活性剤、鉱物油、合成着色料、合成香料、動物性原料を一切用いていない。いわゆる科学的な洗浄成分も。しかし、通常のシャンプー同様に泡立ち、充分に洗浄。リンス、トリートメントも、ボタマスクローズオイル、ザクロ、ゴボウ、アーモンド、ナツメヤシ、アラビアゴム、カンゾウ、トラガント、ウコン、ヘンナ、キュウリ、アロエベラ、オリーブなど、エモリエント効果やケア砂、トリートメント効果等が期待できるとされる素材を配合した。

400ml入りのポンププッシュボトルタイプで税込・8400円とニンバクロのあるらしい。他にもダマスク、ローズオイル、ザクロ、ゴボウ、アーモンドなどの引き合いがあるという。

その答えは、ユナニの伝承素材がジンジフスピナクリスチン「ハラクレウム」「ヒヨコマメ」にあると開発者は語る。洗浄、頭皮の血行促進、抗炎症、皮膚の健康への機能性が古来より認められているらしい。他にもダマスクローズオイル、ザクロ成分が、すべてサロンルート等がこの引き合いがあるという。

Japanese Quality, Chinese Price
新型トコトリエノールを供給しています。
δ-tocophenon-92
vita-pure-95
フィトファーマ㈱ TEL 045-226-2775

消費者委員会

機能性表示、現行制度の枠内で

届出制度の可能性を再度議論

消費者委員会は11月の会合で、健康食品のあり方を議論に取り上げ「この中で同表示の法制化に向けている機能性表示」を定しているが、問題に関する課題を表示、広告制度に係る法制度等事業を行った、科学的根拠レベルに応じた機能性表示現行制度の枠内で再度検討する、名古屋文理大学教授の清水俊雄氏などが招かれた。

だが、日健連協が調査、研究事業を行った、科学的根拠レベルに応じた機能性表示現行制度の枠内で再度検討する、名古屋文理大学教授の清水俊雄氏などが招かれた。

一方、濃縮物や錠剤・カプセル状製品に対する届出制については、委員から導入に前向きな発言があり、来月にも手定されている、最終的な取りまとめにも盛り込まれる可能性が高いとみられる。

錠剤・カプセル

「届出制、大きな流れ」

消費者委・田島氏が説明

消費者委員会委員の田島眞氏（実践女子大学生活科学部教授）は、「届出制」の可能性について、委員会の委員の発言ととまるものの、毎回議論されて

り方についての議論が再開された10月以降、一部の委員の発言ととまるものの、毎回議論されており、来月にも手定されている、最終的な取りまとめにも盛り込まれる可能性が高いとみられる。

個別の表示の機能性表示現行制度の枠内で再度検討する、名古屋文理大学教授の清水俊雄氏などが招かれた。

一方、濃縮物や錠剤・カプセル状製品に対する届出制については、委員から導入に前向きな発言があり